
データの同期と共有 ユーザ ガイド

[FAMILY Given]

データの同期と共有: ユーザ ガイド

[FAMILY Given]

発行日 水曜日, 07. 11 月 2018バージョン 2.8.0

製作著作 © 2016–2018 OX Software GmbH. このドキュメントは OX Software GmbH. の知的所有物です。

このドキュメントの全部または一部をコピーする場合、各コピーにこの著作権情報を明記する必要があります。このドキュメントの内容は細心の注意を払って編集されていますが、情報の誤りを完全に排除することはできません。OX Software GmbH、著者、および翻訳者は、記述の誤りとそれによって生じる結果について、いかなる責任も負うものではありません。このドキュメントで使用されるソフトウェアの名称およびハードウェアの名称は登録商標である可能性があり、無償での使用が保証されているものではありません。OX Software GmbH は原則的に、製造元によるつづりの表記に従います。このドキュメントでは（注釈を付記せずとも）ブランド名、商標、ロゴなどを使用していますが、（商標とブランド名に関する法律により、）これらのブランド名等を無償で使用できることを示すものではありません。

目次

1	このドキュメントについて	5
2	ドライブアプリケーションの用途	7
3	ドライブ アプリケーションをインストールします。	9
3.1	デスクトップ クライアントのインストール	10
3.2	モバイルデバイスへのインストール	11
4	ドライブアプリケーションを使う	13
4.1	ワークステーションでの使用	14
4.1.1	同期データを表示します	15
4.1.2	同期データを変更	15
4.1.3	追加アカウントを設定する	15
4.1.4	Mac OS で Finder Extension を有効にする	15
4.1.5	ブラウザにファイルを表示	16
4.1.6	ブラウザでOffice ドキュメントを編集	16
4.1.7	パブリックリンクを使った共有	17
4.1.8	共有アイテムへの招待	18
4.1.9	同期を一時停止	19
4.1.10	ドライブアプリケーションを閉じます。	19
4.1.11	ワークステーションでの設定	20
4.2	モバイルデバイスでの使用	23
4.2.1	オブジェクトの閲覧、検索、ソート	24
4.2.2	オフラインでオブジェクトを利用可能にする	25
4.2.3	新規オブジェクトの作成	25
4.2.4	オブジェクトを管理	26
4.2.5	オブジェクトの共有	27
4.2.6	写真やビデオのための特殊な機能を使う	28
4.2.7	モバイルデバイス上での設定	29
4.3	注意	30

1 このドキュメントについて

このドキュメントを活用するために理解しておくべき情報を次のトピックごとに説明します。

このドキュメントの対象読者

このドキュメントは、デスクトップまたはモバイルデバイスのファイルやフォルダをドライブアプリケーションを使ってグループウェアサーバと同期したいユーザを対象にしています。

このドキュメントの前提は何ですか？

このドキュメントはユーザがモバイルデバイスを使うことができるという前提で書かれています。

このドキュメントに記載されている内容

このドキュメントは、次の情報が含まれます。

- **ドライブアプリケーションの用途**では、ドライブアプリケーションの使用方法について説明します。
- **ドライブ アプリケーションをインストールします。** では、お使いのシステムにドライブ アプリケーションをインストール、セットアップする方法について説明します。
- **ドライブアプリケーションを使う** では、ドライブ アプリケーションの実際の使用方法について説明します。

このドキュメントでは、グループウェアの一般的なインストール方法と構成方法について説明します。ご利用のグループウェアのインストール バージョンならびに構成によって、記載の方法と異なる場合があります。

その他のヘルプ

グループウェアに関する全般的な情報は、Groupwareのユーザガイドを参照してください。

2 ドライブアプリケーションの用途

ドライブアプリケーションはワークステーションまたはモバイルデバイスにインストールされています。ドライブアプリケーションを使って、サーバ上のファイルやフォルダにアクセスできます。ドライブアプリケーションはローカルマシン/モバイルデバイスとサーバ間でデータの同期が行えます。同期するデータを指定します。

- ワークステーションで同期するには、次のフォルダを指定しなければなりません。
 - お使いのワークステーション上にあるローカル フォルダ。
 - Groupwareサーバ上の1つ以上のフォルダ
- モバイルデバイスでは、同期するオブジェクトを選択するには「オフラインで利用可能」に印を付けます。
- モバイルデバイスではさらに写真やビデオをサーバへアップロードすることも指定できます。この機能はフォストリームといいます。

サーバに適用した変更は、ワークステーションとモバイルデバイスに反映されます。ワークステーションとモバイルデバイスに適用した変更は、サーバとその他のデバイスに反映されます。

下記の変更が同期されます：

- 新規ファイル
- ファイル内容の変更
- ファイル名の変更
- ファイルの削除
- 新規フォルダ
- フォルダ名の変更
- フォルダの削除

サーバ上の次のフォルダを同期するように選択できます：

- 個人用フォルダ
- パブリックフォルダ、共有フォルダ

サーバ構成によって同期のできないフォルダがあります。

読み取りまたは編集アクセスのあるファイルおよびフォルダを共有することによって、他のユーザまたは外部のパートナーと協力するには ドライブ アプリケーションを使用することができます。

次のシステムがサポートされています：

- MS Windows
- Mac OS
- iOS
- Android

3 ドライブ アプリケーションをインストールします。

ドライブ アプリケーションのインストールの仕方を学ぶ：



- [ワークステーションでのインストール](#)
- [モバイルデバイスでのインストール](#)

注：この機能を使用するには、グループウェアサーバで、ドライブ を利用可能にする必要があります。詳細は、管理者またはホスティング事業者にお問い合わせください。

3.1 デスクトップ クライアントのインストール

ワークステーションで ドライブ アプリケーションをインストールする

1. グループウェアを使用して、ご利用のシステム [7]に適したインストールプログラムをダウンロードします。Groupwareサーバ構成によって、次のオプションがあります：

- メニュー バーの右側にある **システム メニュー アイコン**  をクリックします。メニューのご利用の**デバイスを接続**をクリックします。ウィザードが起動します。ウィザードの指示に従ってください。
- メニュー バーの右側にある **システム メニュー アイコン**  をクリックします。メニューで、**設定**をクリックします。サイドバーで**ダウンロード**をクリックします。表示エリアの**ダウンロード**の指示に従ってください。

Groupwareサーバの構成によっては、ドライブ インストール情報ウィジェットがポータル ページに表示されます。

2. インストール プログラムを起動します。ウィザードでは、手順ごとに説明が表示されます。画面の指示に従います。

インストールが完了するとすぐに、**セットアップ ウィザード** が表示されます。

3. ようこそ！ ドライブページに次の情報を入力してください。

- Groupwareサーバの Web アドレス (URL)
- Groupwareサーバ用のユーザ名とパスワード

ログイン をクリックします。Groupwareサーバにログインします。

4. 同期するフォルダの指定の方法は、ワークステーションで動いているオペレーティングシステムによって異なります：

- MS Windows ワークステーションの場合、ローカルフォルダと互いに同期するサーバのフォルダを指定します。設定が完了した **ドライブ** で指定することができ、ページで開始します。そのために、**フォルダ設定のカスタマイズ**をクリックします。フォルダ設定 ページが表示されます。
 - ローカルフォルダを選択するには、**ローカルフォルダ**の隣にある**変更**をクリックします。ローカルフォルダに入ります。
 - サーバのフォルダを選択するには、**同期フォルダ**の隣にある**変更**をクリックします。サーバのフォルダを一つ、または複数選択します。フォルダ設定を完了するには、下部のアイコンをクリックします。
- MAC OS ワークステーションの場合は、どのフォルダを同期したいか聞かれます。

インストール後にフォルダを再指定できます。

すでにデータの入ったローカルフォルダを指定するときには、データがローカルでサブフォルダに移動します。毎回お知らせがあります。

5. 設定を完了するには **開始**をクリックします。

結果：フォルダが同期されます。データ量によって、このプロセスに多少時間がかかることがあります。

3.2 モバイルデバイスへのインストール

ワークステーションで ドライブ アプリケーションをインストールする

1. ご利用のモバイルデバイスのアプリケーション ストアにアクセスします。ドライブ アプリケーションをインストールします。

グループウェア設定のサイドバーにある **ダウンロード** をクリックすると、Groupwareサーバにダウンロード リンクが表示されます。

Groupwareサーバの構成によっては、アプリケーション ストアへのリンクウィジェットがポータル ページに表示されます。

2. インストールが完了すると、ウィザードが起動し、次に行う手順が指示されます。
 - グループウェアサーバのサーバ URL を入力します。
 - グループウェアサーバの認証情報を使用します。
 - 写真やビデオをグループウェアサーバにアップロードするかどうかを指定できます。あとで設定の機能を有効、もしくは無効にすることができます。

設定が完了するとすぐに、個人用 ドライブ フォルダが表示されます。フォルダをオフラインで利用可能にするには、次の手順に従います。

- a. フォルダの隣にあるメニューアイコンをタップします。
- b. メニューで**オフラインで利用可能** を有効にします。

結果：フォルダが同期されます。データ量によって、このプロセスに多少時間がかかることがあります。

4 ドライブアプリケーションを使う

ドライブアプリケーションをインストールするとすぐにバックグラウンドで動作しますので、ユーザは何も操作する必要はありません。ただし、情報の確認や構成する際は、それらの機能を使用できます。ドライブアプリケーションをワークステーションで使用するか、モバイルデバイスで使用するかによって使用可能な機能が異なります。

- [ワークステーション](#)では、次の機能が利用できます。
- [モバイルデバイス](#)では、次の機能が利用できます。
- [利用ガイドライン](#)

4.1 ワークステーションでの使用

ワークステーションでは、次の機能が利用できます。

- 同期データを表示
- 同期データを変更
- 追加フォルダを同期するために追加アカウントを設定
- ブラウザにローカルフォルダからファイルを開く
- ブラウザにローカルフォルダからOfficeドキュメントを開く
- 他のユーザまたは外部パートナーとのファイルおよびフォルダの共有できます：
 - 読み取り権限で共有するためにパブリックリンクを使用
 - 読み取りまたは書き込み権限で共有の招待を送信
- 同期を停止または再開
- ドライブアプリケーションを閉じる
- 設定 のカスタマイズ

注：Mac OS ワークステーションで表示や共有の機能を使用するには、ドライブFinder Extensionを有効にしてください。

4.1.1 同期データを表示します

同期データを表示

1. ドライブ アイコンのコンテキスト メニューを開きます。
2. 次のようなオプションの機能を使います：
 - 以前に変更されたデータの一覧を表示するには、以前に変更されたデータを選択します。
 - ご利用のシステムのファイルブラウザでローカルフォルダを開くには、Drive フォルダを開くを選択します。

ヒント： インストールによって、ドライブ デスクトップアイコンでローカルフォルダを表示することもできます。

詳細は、次のページを参照してください。

- [同期データを変更 \(p. 15\)](#)
- [追加アカウントを設定する \(p. 15\)](#)

4.1.2 同期データを変更

同期するフォルダを変更できます。

ワークステーションの同期するフォルダを変更する

1. ドライブ アイコンのコンテキスト メニューを開きます。
2. コンテキスト メニューから設定を選択します。
3. 設定ページで、同期オプションを選択します。設定はアカウントごとに別々に表示されます。同期するフォルダを変更するには、それぞれのボタンをクリックします。

詳細は、次のページを参照してください。

- [同期データを表示します \(p. 15\)](#)
- [追加アカウントを設定する \(p. 15\)](#)

4.1.3 追加アカウントを設定する

他のフォルダにあるデータを同期するための追加アカウントを設定できます。

追加プロフィールを作成

1. ドライブ アイコンのコンテキスト メニューを開きます。
2. コンテキスト メニューから設定を選択します。
3. 設定 ページで、アカウントを選択します。
新規アカウントをクリックします。セットアップウィザードが表示されます。
4. サーバアドレスと認証情報を入力します。ログイン をクリックします。
次のページで、フォルダ設定のカスタマイズをクリックします。同期するフォルダを選択します。

詳細は、次のページを参照してください。

- [同期データを表示します \(p. 15\)](#)
- [同期データを変更 \(p. 15\)](#)

4.1.4 Mac OS で Finder Extension を有効にする

Office 文書を開けるようにしたり、Finder のヘルプでオブジェクトをMac OS ワークステーションで共有できるようにするには、ドライブFinder Extensionを有効にしてください。

ドライブMac OS で Finder Extension を有効にする

1. システム環境設定を開きます。システム環境設定ウィンドウでExtensionsを選択します。
2. Extensionsウィンドウで、Finderを選択します。Finder Extension を有効にする。

4.1.5 ブラウザにファイルを表示

ブラウザにドライブローカルフォルダからファイルを開く

ブラウザにファイルを表示する

注：この機能をMac OS ワークステーションで使う前にドライブFinder Extension を有効にしなければなりません。

1. ご利用のシステムのファイルブラウザでローカル ドライブ フォルダを開きます。
2. ドライブローカルフォルダでファイルのコンテキストメニューを表示します。
ブラウザで開くを選択します。

結果：グループウェアがブラウザで開きます。ファイルが表示されます。

詳細は、次のページを参照してください。

[ブラウザでOffice ドキュメントを編集 \(p. 16\)](#)

4.1.6 ブラウザでOffice ドキュメントを編集

グループウェアのローカル ドライブ フォルダのドキュメントを表示して、閲覧または編集できます。

Office ドキュメントを開く

注：この機能をMac OS ワークステーションで使う前にドライブFinder Extension を有効にしなければなりません。

1. ご利用のシステムのファイルブラウザでローカル ドライブ フォルダを開きます。
2. App Suite で編集を選択します。

結果：グループウェアがブラウザで開きます。それぞれのアプリケーションでファイルが表示されます。

注：Office ドキュメントの編集情報は、Documents ユーザガイドを参照してください。

詳細は、次のページを参照してください。

[ブラウザにファイルを表示 \(p. 16\)](#)

4.1.7 パブリックリンクを使った共有


パブリックリンクを作成すると、読み取りアクセスでデータを共有できます。そのリンクをパートナーに送ることができます。このリンクを得たユーザは、データを見ることができます。

次のようなオプションの機能があります。

- アクセス用のパスワードを設定できます。
- 固有の期間切れたら（例えば1ヶ月）リンクが無効にすることができます。
- パブリックリンクを無効にすることができます。

パブリックリンクを作成すると、読み取りアクセスでデータを共有できます：

注：この機能をMac OS ワークステーションで使う前にドライブFinder Extension を有効にしなければなりません。

1. ご利用のシステムのファイルブラウザでローカル ドライブ フォルダを開きます。
2. ローカル ドライブ フォルダでフォルダまたはファイルのコンテキストメニューを表示します。この機能を選択：
 - MS Windows システムの場合のドライブ > 招待
 - macOS システムの場合のドライブ > 招待選択アイテムをすでに共有している場合、次のステップ時に共有パラメータを変更できます。ウィンドウが表示されます。共有ファイルの読み取りアクセス用のパブリックリンクを含みます。
3. リンクを共有するには、次のオプションがあります：
 - 他のアプリケーションにリンクを挿入するには、リンクの隣のリンクをクリックボードにコピーアイコンをクリックします。
 - リンクをメールで直接送信するには、メールで送信をクリックします。利用したいメールアドレスを入力します。必要に応じて、メッセージを入力します。
4. 次のようなオプションの機能があります。
 - 規定では、データは無制限で読み取りアクセスがある状態で共有されます。共有データへのアクセスに時間制限を設ける場合は、リンクの有効期限を有効にします。日付を選択します。
 - パスワードでアクセスを保護する場合はパスワードだけのアクセスを有効にします。パスワードを入力します。パスワードをテキストとして表示するには、パスワードを表示または非表示にするアイコンをクリックします。メールごとにパブリックリンクを送信する場合、メールにはパスワードが含まれます。
 - 共有アイテムへのアクセスを無効にするには、リンクを削除をクリックします。
5. 完了をクリックします。

詳細は、次のページを参照してください。


[共有アイテムへの招待 \(p. 18\)](#)

4.1.8 共有アイテムへの招待

固有の人と読み取りまたは編集アクセスでデータを共有するには、内部ユーザと外部パートナーを共有アイテムへ招待ができます。ユーザは招待メールを受信します。外部パートナーが共有ファイルにアクセスする場合、パートナーは自動でゲストユーザとしてログインします。

メールで内部ユーザまたは外部パートナーを共有ファイルに招待する：

注：この機能をMac OS ワークステーションで使う前にドライブFinder Extension を有効にしなければなりません。

1. ご利用のシステムのファイルブラウザでローカル ドライブ フォルダーを開きます。
2. 内部ユーザまたは外部パートナーを共有ファイルに招待メールを送るにはこの機能を選択します。
 - MS Windows システムの場合の **ドライブ > 招待**
 - macOS システムの場合の **ドライブ > 招待**ウィンドウが表示されます。共有アイテムへの招待を行うための機能を提供します。
3. 名前またはメールアドレスを *招待を作成* タブに入力します。受取人を入力しているときに、受取人の候補が表示されます。候補を選択するには、その候補をクリックしてください。メールアドレスは、内部ユーザ、グループ、またはゲストとして一覧に追加されます。既定の許可が付与されます。必要に応じて、メッセージを入力します。
4. 権限を編集するには、次のオプションがあります：
 - ユーザロールを調節するには、名前の隣にある **現在のロール** アイコンをクリックします。メニューで、目的の項目を選択します。
 - 権限を削除するには、名前の隣にある **削除** アイコン  をクリックします。
5. 選択アイテムをすでに共有している場合は共有パラメータを変更できます。変更するには、*招待を管理* タブを選択します。
6. 完了をクリックします。

詳細は、次のページを参照してください。

[パブリックリンクを使った共有 \(p. 17\)](#)

4.1.9 同期を一時停止

すべてのアカウントまたは一つのアカウントの同期を一時停止し、再開することができます。

すべてのアカウントの同期を停止する

1. ドライブ アイコンのコンテキスト メニューを開きます。
2. 同期の一時停止を選択します。
同期を再開するには、同期を再開 をクリックします。

一つのアカウントの同期を停止する

1. ドライブ アイコンのコンテキスト メニューを開きます。
2. コンテキスト メニューから設定を選択します。
3. 設定ページで、同期オプションを選択します。設定はアカウントごとに別々に表示されます。次のアクションを行います。
 - MS Windows システムの場合：
アカウントの同期を停止するには、アカウント設定の同期オンアイコンをクリックします。同期を停止します。アイコンのラベルが同期オフに変更されます。
同期を再開するには、同期オフをクリックします。アイコンのラベルが同期オンに変更されます。
 - Mac OS システムの場合：
アカウントの設定を表示します。
このアカウントのファイルの同期は有効にするのチェックボックスを無効にします。

4.1.10 ドライブアプリケーションを閉じます。

ドライブアプリケーションを閉じる：

1. ドライブ アイコンのコンテキスト メニューを開きます。
2. ドライブを閉じるを選択

4.1.11 ワークステーションでの設定

ワークステーションで **ドライブ クライアント機能**を使用する：

1. ドライブ アイコンのコンテキスト メニューを開きます。
2. コンテキスト メニューから**設定**を選択します。

MS Windows と Mac OS では設定は異なります。

環境設定, MS Windows

■ 全般

- 言語ドライブ アプリケーションのユーザ インターフェースの言語を指定します。
- 自動起動システム起動時に ドライブアプリケーションが自動的に起動するかどうかを指定します。
- Windows Explorer への統合この機能をインストールすると、Windows Explorer にフォルダとファイルの同期の状態が表示されます。

■ アカウント

アカウントには、サーバアドレス、ログインデータ、サーバフォルダ、ローカルフォルダ、保存量が含まれます。複数のサーバフォルダやローカルフォルダ、または複数のサーバのデータを同期するには、複数のアカウントを設定します。次の機能が利用できます。

- アカウントを編集 ボタン新規でパスワードを入力できるウィンドウを表示します。グループウェアサーバのパスワードの変更後にこの機能を使用します。
- アカウントを削除 ボタンこのアカウントに設定されている同期を終了します。アカウントを削除します。
注：この機能を使用すると、データは、ローカルからもサーバからも削除されます。
- 新規アカウントボタン新規アカウントを作成するための ドライブ セットアップ ウィザードを起動します。

■ 同期オプション

同期するフォルダを指定します。同期を停止または再開します。次の機能が利用できます。

- ローカルフォルダローカルフォルダを表示します。このアカウント用にローカルフォルダを使用するには、**変更**をクリックします。
- 接続解除ボタンボタンをクリックすると、アカウントの同期が終了します。ボタンが**同期再開**に変更されます。ボタンをクリックすると、アカウントの同期が再開します。
- ドライブ. サーバアドレスを表示します。このアカウントに別のサーバを使用するには、**変更**をクリックします。

■ 通知

同期中に発生したエラーを表示します。同期中断の通知があった場合は、**繰り返し**をクリックします。可能であれば、同期が行われます。

■ 接続

使用しているプロキシの設定を表示します。ここでは、プロキシ設定を変更できます。

- **バージョン情報**
ドライブアプリケーションバージョンと更新ステータスに関する情報を表示します。トラブルシューティングで役に立つログファイルの内容を指定します。次の機能が利用できます。
 - **デバッグと診断** 次の機能が利用できます。
 - **サーバログ**この設定が有効になると、グループウェアサーバ通知もログファイルに書き込まれます。
 - **SQLログ**この設定が有効になると、sqlデータベースアクションに関する通知もログファイルに書き込まれます。
 - **ログファイルを表示**既定のテキストエディタに現在のログファイルを表示します。ログファイル内容の範囲は上記設定によって異なります。
 - **ログファイルを保存**ログファイルおよび様々なシステム情報をZIPアーカイブとして保存します。
 - **自動更新**アプリケーションが起動時に新規バージョンであることを確認するかどうかを指定します。
 - **更新が可能です。**アプリケーションに現在の更新が含まれるかどうかを表示します。

設定, Mac OS

- **全般**

- 言語ドライブ アプリケーションのユーザ インターフェースの言語を指定します。
- 自動起動システム起動時に ドライブアプリケーションが自動的に起動するかどうかを指定します。
- Windows Explorer への統合この機能をインストールすると、Windows Explorer にフォルダとファイルの同期の状態が表示されます。

- **アカウント**

アカウントには、サーバアドレス、ログインデータ、サーバフォルダ、ローカルフォルダ、保存量が含まれます。複数のサーバフォルダやローカルフォルダ、または複数のサーバのデータを同期するには、複数のアカウントを設定します。次の機能が利用できます。

- アカウントを編集 ボタンサーバのウェブページ (url)、ユーザ名、パスワードを入力するページを表示します。
- アカウントのリンク解除 ボタンこのアカウントに設定されている同期を終了します。アカウントを削除します。
注：この機能を使用すると、データは、ローカルからもサーバからも削除されます。
- 新規アカウントを追加ボタン。新規アカウントを作成するための ドライブ セットアップ ウィザードを起動します。

- **同期設定**

アカウントのためのローカルフォルダおよびサーバフォルダを変更できます。次の機能が利用できます。

- このアカウントのファイルの同期は有効にするチェックボックスこのアカウントで同期を行うかどうかを指定します。
- ドライブこのMacのフォルダローカルフォルダを表示します。このアカウントの別のローカルフォルダを使用するには、フォルダを変更をクリックします。
- 同期するフォルダを選択します。このアカウントに別のサーバを使用するには、フォルダを選択をクリックします。

- **通知**

同期中に発生したエラーを表示します。同期中断の通知があった場合は、繰り返しをクリックします。可能であれば、同期が行われます。

- **プロキシタブ**

使用しているプロキシの設定を表示します。ここでは、プロキシ設定を変更できます。

- **バージョン情報タブ**

ドライブアプリケーションバージョンと更新ステータスに関する情報を表示します。次の機能が利用できます。

- 診断モード総合情報をログファイルに書き込むかどうかを指定します。診断モードが無効の場合、簡略した情報のみが書き込まれます。ドライブ アプリケーションと同じディレクトリにログ ファイルが保存されます。
- 自動インストール更新新バージョンが利用可能になればすぐに、アプリケーションが自動で更新されるかどうかを指定します。

4.2 モバイルデバイスでの使用

モバイルデバイスでは、次の機能が利用できます。

- サーバまたはモバイルデバイスのオブジェクトの**閲覧、検索、ソート**
- **オブジェクトをオフラインで利用可能にする** モバイルデバイスへオブジェクトをダウンロードします。
- フォルダや写真のような新規オブジェクトを **作成** する オブジェクトをモバイルデバイスで作成し、サーバにアップロードします。
- オブジェクトの移動、名前の変更、削除などでオブジェクトを **管理** する 変更がサーバ同期されます。
- 他のユーザまたは外部のパートナーとのファイルおよびフォルダの共有のために**共有**を使うオブジェクトがそれぞれサーバに共有されます。
- **写真やビデオ** 用の特殊な機能
- **設定** のカスタマイズ

4.2.1 オブジェクトの閲覧、検索、ソート

オブジェクトを表示するには、次の機能を使用します：

- 表示するオブジェクトを選択：すべてのオブジェクトまたは写真や最近使用したファイルのような特定のオブジェクト、オフラインで利用可能なオブジェクト、削除されたオブジェクト
- ビューの選択：グリッドまたはリスト
- オブジェクトを検索するための検索用語の使用
- 名前、サイズ、日付でのオブジェクトのソート

モバイルデバイスでオブジェクトを表示する

1. ドライブ アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。サーバに個人用ファイルまたはフォルダを表示するには、**すべてのファイル**を選択します。

特定のオブジェクトのみを表示するには、その他のビューも利用できます：

- **すべての画像** は画像とビデオのみを表示します。
- **最近開いた** は最近開いたファイルのみを表示します。
- **オフラインで利用可能** はモバイルデバイスへダウンロードしたファイルまたはフォルダのみを表示します。データはローカルに保存されます。これにより、サーバ接続がない場合でもデータが利用可能になります。
- **カメラからのインポート** はカメラアップロードを使ってサーバへアップロードされた、ローカルで保存された写真またはビデオを表示します。
これらの写真およびビデオは、サーバのフォトストリームフォルダにあります。
- **自分の共有ファイル** はサーバーで他のユーザと共有しているファイルまたはフォルダのみを表示します。
- **ごみ箱**はごみ箱のオブジェクトを表示します。
警告：ごみ箱からオブジェクトを削除すると元に戻すことはできません。
オブジェクトを完全に削除するには、**すべてを削除**をタップします。

2. フォルダを開くには、フォルダをタップします。

注：選択したビューによって、フォルダは表示されない可能性があります。

3. 機能バーで、目的の機能を選択します：

- ビューを選択するには、右側にあるメニューアイコンをタップします。選択したビューに応じて、次のいずれかの方法を使用します。**リストビュー**、**プレビュービュー**
- オブジェクトをソートするには、右側のメニューアイコンをタップします。**ソート**をタップします。
- オブジェクトを検索するには、**検索** アイコンをタップします。検索用語を入力します。
名前に検索用語を含むオブジェクトが表示されます。

注：選択したビューによって、利用可能な機能が異なります。

4. オブジェクトの詳細ビューを表示するには、そのオブジェクトをタップします。

詳細は、次のページを参照してください。

[オフラインでオブジェクトを利用可能にする \(p. 25\)](#)

[新規オブジェクトの作成 \(p. 25\)](#)

[オブジェクトを管理 \(p. 26\)](#)

[オブジェクトの共有 \(p. 27\)](#)

[写真やビデオのための特殊な機能を使う \(p. 28\)](#)

4.2.2 オフラインでオブジェクトを利用可能にする

モバイルデバイスでは、オブジェクトをオフラインで利用可能にするには、サーバからモバイルデバイスへオブジェクトをダウンロードします。オフラインで利用可能になる時点でオブジェクトの変更が同期されます。

モバイルデバイスで単一のオブジェクトをオフラインで利用可能にする

1. ドライブ アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。すべてのファイル またはその他の適したビューを選択します。
2. ファイルとフォルダのリストで、目的のオブジェクトを選択します。
オブジェクトの隣にあるメニュー アイコンをタップします。
3. メニューで**オフラインで利用可能**を有効にします。
オブジェクトがモバイルデバイスへダウンロードされます。オフラインで**利用可能なアイコン**④でラベル表示されます。

ヒント：オフラインで利用可能なオブジェクトのみを表示するには、メニューアイコンをタップします。**オフライン**を選択します。

詳細は、次のページを参照してください。

- オブジェクトの閲覧、検索、ソート (p. 24)
- 新規オブジェクトの作成 (p. 25)
- オブジェクトを管理 (p. 26)
- オブジェクトの共有 (p. 27)
- 写真やビデオのための特殊な機能を使う (p. 28)

4.2.3 新規オブジェクトの作成

モバイルデバイスによって、次のいずれかの機能を使用して新規オブジェクトを作成できます。

- 新規フォルダを作成します
- 既存の写真やビデオ、新規の写真の追加

モバイルデバイスで新規オブジェクトを作成する

1. ドライブ アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。**ファイル**を選択します。
2. 新規オブジェクトを作成する先のフォルダを開きます。
3. 下部**追加アイコン**⑤をタップします。
4. メニューで、目的の機能を選択します：
 - 新規の写真を撮影して、追加するには、**カメラから**を選択します。
 - 新規フォルダを作成するには、**新規フォルダを作成**を選択します。
 - 既存の写真やビデオを追加するには、**画像またはビデオ**を選択します。

詳細は、次のページを参照してください。

- オブジェクトの閲覧、検索、ソート (p. 24)
- オフラインでオブジェクトを利用可能にする (p. 25)
- オブジェクトを管理 (p. 26)
- オブジェクトの共有 (p. 27)
- 写真やビデオのための特殊な機能を使う (p. 28)

4.2.4 オブジェクトを管理

モバイルデバイスでは、オブジェクト管理のために次の機能を使用できます：

- 単一のオブジェクトの移動、名前の変更、削除
- 複数のオブジェクトの移動、削除

モバイルデバイスでの単一のオブジェクトを移動、名前の変更、削除をする

警告：ドライブアプリケーションで、オブジェクトを削除すると、そのオブジェクトはサーバや他のすべてのクライアントからも削除されます。

1. ドライブ アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。**すべてのファイル** またはその他の適したビューを選択します。
2. ファイルとフォルダのリストで、目的のオブジェクトを選択します。
オブジェクトの隣にあるメニュー アイコンをタップします。
3. メニューで、目的の機能を選択します：
 - オブジェクトの名前を変更するには**名前を変更**を選択します。
 - オブジェクトの移動するには**移動**を選択します。
 - オブジェクトの削除するには**削除**を選択します。

モバイルデバイスでの複数のオブジェクトの移動、削除をする

警告：ドライブアプリケーションで、オブジェクトを削除すると、そのオブジェクトはサーバや他のすべてのクライアントからも削除されます。

1. ドライブ アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。**すべてのファイル** またはその他の適したビューを選択します。
2. フォルダを開くには、フォルダをタップします。
3. 機能バーの右側にあるメニューアイコンをタップします。**選択**をタップします。
チェックボックスは、オブジェクトの隣に表示されます。
4. オブジェクトをタップして、一つまたは複数のオブジェクトを選択します。
5. リストの下の目的の機能を選択します：
 - 選択したオブジェクトを削除するには、**削除**をタップします。
 - 選択したオブジェクトを移動するには、**移動**をタップします。
オブジェクトを移動する先のフォルダを選択します。

詳細は、次のページを参照してください。

- オブジェクトの閲覧、検索、ソート (p. 24)
- オフラインでオブジェクトを利用可能にする (p. 25)
- 新規オブジェクトの作成 (p. 25)
- オブジェクトの共有 (p. 27)
- 写真やビデオのための特殊な機能を使う (p. 28)

4.2.5 オブジェクトの共有

モバイルデバイスで読み取り権限または編集権限のあるオブジェクトを共有できます。この機能を使用して、グループウェアサーバのオブジェクトを共有できます。

モバイルデバイスでオブジェクトを共有する

1. ドライブ アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。すべてのファイル またはその他の適したビューを選択します。
2. ファイルとフォルダのリストで、目的のオブジェクトを選択します。
オブジェクトの隣にあるメニュー アイコンをタップします。
3. 次の機能のいずれか一つを選択します：
 - 内部ユーザまたは外部パートナーを共有ファイルに招待メールを送るには **招待** を選択します。新規ページを表示します。
アイテムが招待ですでに共有されている場合は、その名前と権限が表示されます。
共有に招待する場合は、メールアドレスをメッセージを入力します。規定の許可をタップして、カスタマイズします。手順を完了するには、下部の**招待**をタップします。
 - 読み取りアクセスのついたデータの共有にパブリックリンクを使用するには、**リンクを取得**を選択します。新規ページを表示します。
リンクの有効期限やアクセスパスワードの設定ができます。**リンクを取得**をクリックします。アイテムがサーバで共有されます。
同期されるとすぐに、次のボタンが表示されます。
 - **リンクをコピー**ボタンをクリックすると、リンクがクリックボードにコピーされます。
 - **アプリケーションを開く**ボタンをクリックすると、利用可能なアプリケーションのページが表示されます。アプリケーションを選択して、アプリケーションへリンクをコミットできます。

注：共有ファイル、または権限に関する全般的な情報は、グループウェアのユーザ ガイドを参照してください。

モバイルデバイスでオブジェクトの共有を管理する：

1. ドライブ アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。自分の共有ファイルを選択します。
2. ファイルとフォルダのリストで、目的のオブジェクトを選択します。
オブジェクトの隣にある共有アイコンをタップします。
メニューの利用したい機能をタップします。

注：共有ファイル、または権限に関する全般的な情報は、グループウェアのユーザ ガイドを参照してください。

詳細は、次のページを参照してください。

- オブジェクトの閲覧、検索、ソート (p. 24)
- オフラインでオブジェクトを利用可能にする (p. 25)
- 新規オブジェクトの作成 (p. 25)
- オブジェクトを管理 (p. 26)
- 写真やビデオのための特殊な機能を使う (p. 28)

4.2.6 写真やビデオのための特殊な機能を使う

モバイルデバイスでは、写真やビデオ用の追加機能も利用できます：

- サーバへ転送アップロードされた写真やビデオの概要を表示する。
- サーバ側で存在するすべての写真やビデオの概要を表示する。
- サーバから携帯電話のフォトギャラリーに写真またはビデオをコピーする。

アップロードされた写真やビデオの概要を表示する

1. ドライブ アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。
2. カメラからのインポートを選択します。

結果：カメラからのインポートはカメラアップロードを使ってサーバへアップロードされた、ローカルで保存された写真またはビデオを表示します。

注：他の機能はこのビューでは利用できません。

これらの写真およびビデオは、サーバのフォトストリームフォルダにあります。

サーバの写真やビデオの概要を表示する

1. ドライブ アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。
2. **すべての画像** を選択します。サーバ上の個人用フォルダにある写真やビデオを表示します。
内容をソートやビューを変更するには、機能バーの右側にあるメニューアイコンをタップします。

サーバからモバイルデバイスのフォトギャラリーにコピーする

1. ドライブ アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。
2. **すべてのファイル**を選択します。フォトストリームまたは写真やビデオの入った別のフォルダを選択します。サーバ上のフォルダの写真やビデオが表示されます。
3. 機能バーの右側にあるメニューアイコンをタップします。
デバイスに応じて、次のいずれかの方法を使用します。
 - Android モバイルデバイス：デバイスに保存
 - iOS モバイルデバイス：カメラロールに保存チェックボックスは、写真の隣に表示されます。一つの写真またはビデオを選択するか、**すべてを選択**をタップします。
4. **保存**をタップします。写真はローカルの写真ギャラリーのドライブサブフォルダにコピーされます。

詳細は、次のページを参照してください。

- オブジェクトの閲覧、検索、ソート (p. 24)
- オフラインでオブジェクトを利用可能にする (p. 25)
- 新規オブジェクトの作成 (p. 25)
- オブジェクトを管理 (p. 26)
- オブジェクトの共有 (p. 27)

4.2.7 モバイルデバイス上での設定

モバイルデバイスで **ドライブアプリケーション設定**を使用する

1. ドライブ アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。
2. **設定** を選択します。

次の設定が利用できます：

- **サインアウト**
サイン アウトします。同期を停止します。
- **割当量**
グループウェアサーバの割当量の上限に関する情報が表示されます。
- **全般**
様々な設定と情報を表示
 - **アプリケーション起動時での同期**アプリケーションの起動後に自動的に同期を開始するかどうか設定します。
 - **変更の自動同期**変更後に自動的に同期を開始するかどうか設定します。
 - **キャッシュ サイズの制限**同期データ用の空き容量を指定します。
 - **サーバ URL**同期に使用されるサーバのアドレスを表示します。
アドレスを変更するには、**変更**をタップします。
- **カメラからのインポート**
モバイルデバイスで撮影した写真をサーバに転送するかどうか設定します。
 - **カメラからのインポートアップロード**を有効化または無効化します。
 - **ビデオを含むビデオ**もアップロードされます。
 - **すべての写真**モバイルデバイス上の写真やビデオとこれから撮影する写真やビデオすべてを転送します。
 - **新規写真のみ**この機能を有効にした後に撮影された写真やビデオのみをインポートします。
 - **バックグラウンド アップロード**を有効化ドライブ アプリケーションは開いていない状態でも写真やビデオをサーバへ転送します。
- **バッテリー**
同期を許可するバッテリー状態を指定します。
 - **充電中にのみ同期**充電時にのみ同期します。
 - **次の場合に同期を一時停止**バッテリーの容量が特定のレベル以下になった場合に同期を一時停止するかどうか設定します。
- **ネットワーク**
同期するのに使用される接続のタイプを指定します。
- **サポート**
このユーザ ガイドを表示します。
警告： **アプリケーションをリセット** をクリックすると、アプリケーション内の同期済みデータがすべてローカル上から削除されます。サーバのデータは維持されます。モバイルデバイス上のデータを再度使用するには、同期し直します。

4.3 注意

パスワードの変更

ドライブではパスワードは変更できません。ドライブ はグループウェアへのアクセスの場合と同じパスワードを使用します。

名前の制限

ファイルやフォルダを正常に同期させるには、これらの名前に特定の文字を含めないでください。

- 次のいずれかの文字がファイル名やフォルダ名にあると、それらのファイルやフォルダは同期されません。
<> : " / \ | ? *
- 次のすでに使用されているデバイス名がファイル名やフォルダ名にあると、それらのファイルやフォルダは同期されません。
CON, PRN, AUX, NUL, COM1, COM2, COM3, COM4, COM5, COM6, COM7, COM8, COM9, LPT1, LPT2, LPT3, LPT4, LPT5, LPT6, LPT7, LPT8, LPT9
- 次のファイルは同期されません。
desktop.ini, Thumbs.db, .DS_Store, icon\r
拡張子が .drivepart のファイル
Office アプリケーションでロックされたファイルなどの一時ファイル
- 次のフォルダは同期されません。
/.drive

ソフトウェアの開発状態によって、同期されないファイルやフォルダが増える可能性があります。

ファイル名の太文字と小文字

一部のシステムでは、フォルダ内のファイル名は太文字と小文字が区別されます。ローカル フォルダにそのようなファイルを作成する場合、そのうちの 1 つのみが同期されます。ローカル フォルダでは、太文字と小文字が異なるだけのファイル名は使用しないでください。

複数のファイルを一度に編集しないでください。

データの損失を防ぐため、ローカル フォルダとリモート フォルダのファイル、または複数のクライアントのファイルを同時に編集しないでください。

ファイル バージョン

ローカル フォルダのファイルを変更した場合、ドライブ では、リモート フォルダに新規のバージョンのファイルが作成されます。ローカル フォルダでは、最新のバージョンのファイルのみが表示されます。